

金盛 友彦さん (ゲストハウス経営)
2012 年度 1 次隊 青年海外協力隊
派遣国：ガボン共和国 職種：柔道
2020 年 5 月 31 日 (日) 中国新聞 SELECT 掲載



※中国新聞社の許諾を得ています

柔道巡回指導 強化に力

青年海外協力隊として 2012 年 6 月、ガボンの首都リーブルビルに赴任した。柔道を教える 2 代目の隊員として市内 12 クラブを巡回指導し、ナショナルチームの強化活動にも取り組んだ。

生徒が集まらない、道場が閉まっているなど、当初は言葉や文化の違いもあり苦労した。自身の力不足も感じながら、指導者たちと話し合い、共に時間を過ごす中で徐々に信頼関係を築いた。思い返すと、若輩者の私をよく受け入れてくれたと思うが、それは先人の積み重ねがあったからだ。



タイヤを使って柔道のトレーニングをするガボンのジュニアナショナルチーム

そのバトンを次へ渡すことが自分の役割だったのだろう。ガボン人の多様な文化、家族や友人を大事にする考え方、また外の世界で道を切り開いていく過程を学べた事は大きな財産となった。

帰国後は「海外での経験を日本の地域社会に還元したい」と思い、高梁市で地域おこし協力隊に応募した。空き家となっていた家を地元の方と改装し、宿「ゲストハウス柔」へと再生させた。未経験の大工仕事、宿の運営に四苦八苦しながらも、市を訪れる人の入り口として、多種多様な人を受け入れてきた。

18 年の西日本豪雨では、宿がボランティア活動に従事する人の場となった。地域の方の助けもあり微力ではあるが、新しい風を吹かせることができたと思う。二つの協力隊を経験し学んだ事は「前に向かって生きていく力」だ。地域と向き合い、困難な状況を乗り越え、ガボンの柔道家を私の宿に迎え入れるという次の夢を目指したい。